

紀伊半島研究会 活動記録

1996年 6月30日 第1回紀伊半島シンポジウム開催

同 秋 紀伊半島研究会 発足

研究会の目的 「なぜ紀伊半島か？」

国外にででの地球環境に関する系統的研究はなされているが、国内においてはむしろほとんど系統的研究はなされていない。亜熱帯から亜寒帯にいたる幅広い気候を有するとともに、世界でも有数の降雨量を誇る紀伊半島は、日本および世界の地球環境のモデルとして、最適である。また、紀伊半島を囲み、多くの大学が存在し、すでに、かなりの研究の蓄積がある。これらの大学がネットワークを組み、研究を推進すれば、多くの成果が期待できる。さらには、各市町村との連携により、環境保全、災害、エネルギー、あるいは新しい生活システム、社会システムの実験村の設定などが可能となる

以後、ほぼ1年毎に紀伊半島シンポジウムを開催

会員数：97名（2006年12月現在）

第1回 紀伊半島シンポジウム

日時：1996年6月30日(日) 10:30-15:00

場所：奈良女子大学記念館

主催：紀伊半島研究会

開会挨拶 奈良女子大学 名越 誠

1. 「和州吉野郡中物産志」と現代の比較

奈良産業大学 御勢 久右衛門

2. 人工衛星からみた紀伊半島の自然

奈良女子大学 藤原 昇

昼食

3. 紀伊山地の地形と地質

奈良教育大学 西田 史郎

4. 常緑樹の葉の動態 - クスノキ科を中心として

奈良女子大学 高須 英樹

5. 吉野川山地溪流における河川環境と底生動物群集の中期的変動

大阪府立大学 谷田 一三

閉会挨拶 奈良女子大学 清水 晃

第1回 紀伊半島シンポジウム

日時：1996年6月30日(日) 10:30-15:00

場所：奈良女子大学記念館(大学正門をいって正面)

*開会挨拶 奈良女子大学 名越 誠

1. 「和州吉野郡中物産志」と現代の比較

奈良産業大学 御勢久右衛門

2. 「人工衛星からみた紀伊半島の自然」

奈良女子大学 藤原 昇

昼食

3. 「紀伊山地の地形と地質」

奈良教育大学 西田 史郎

4. 「常緑樹の葉の動態 - クスノキ科を中心として」

和歌山大学 高須 英樹

5. 「吉野川山地溪流における河川環境

と底生動物群集の中期的変動」 大阪府立大学 谷田 一三

*閉会 奈良女子大学 清水 晃

参加申込および参加費は不要です。直接会場へお越し下さい。

問い合わせ先：

奈良女子大学理学部生物科学教室 〒630 奈良市北魚屋西町

清水 晃(事務局長) Tel. 0742-20-3425

大石 正(事務局) Tel. 0742-20-3413

Fax. 0742-20-3368

e-mail: oishi@cc.nara-wu.ac.jp.

第2回 紀伊半島シンポジウム - 紀伊半島を地球環境のモデルに -

日時：1997年4月26日(土) 14:00 - 17:00

場所：奈良女子大学記念館

主催：紀伊半島研究会

- 開会挨拶 奈良女子大学 名越 誠
1. 植生からみた紀伊半島中核地域の特徴
天理大学 菅沼 孝之
 2. 大台が原 - 表日本と裏日本との境界
奈良女子大学 相馬 秀廣
 3. 南勢島の河川、地下水とその水分特性
三重大学 森 和紀
 4. 紀伊半島沿岸の海の動物の特徴
奈良女子大学 和田 恵次
- 閉会挨拶 奈良女子大学 清水 晃

ご挨拶

私たち紀伊半島を囲んだ大学に籍をおくもの有志は、紀伊半島を地球環境問題のモデル研究地域として位置づけ、協力して『紀伊半島の自然と生活環境』を見直すことをやっております。日本のほぼ中心に位置する紀伊半島は、幅広い気候帯に豊かな自然を擁しておりますが、近年人の生活圏が広がり生活文化が豊かになるとともに、人間活動の影響が著しくなってきました。私たちは、昨年初夏に『第1回紀伊半島シンポジウム』を開催し、市民とともに、広い視野から紀伊半島の自然や社会の現状と歴史を学んでいくことを提案いたしました。さらに秋には、紀伊半島の総合的研究と研究のネットワーク確立をめざして『紀伊半島研究会』を発足させました。私たちは、この研究会を基礎として、紀伊半島研究に関するレベルの高い学術的情報を市民に提供し、市民とともに21世紀の紀伊半島の姿を考えたいと思います。

この度紀伊半島研究会の最初の事業として、『第2回紀伊半島シンポジウム』を奈良女子大学で開催する準備がととのいました。紀伊半島に関心をもたれる方々に、広くご参加を呼びかけたいと考えます。どうかよろしくご支援くださるようお願いいたします。

1997年4月10日

紀伊半島研究会
会長：名越 誠
(奈良女子大学)

第3回 紀伊半島シンポジウム - 紀伊半島を地球環境のモデルに -

日時：1998年7月12日(日) 13:30 - 16:30

場所：奈良女子大学大学院・人間文化研究科会議室

主催：紀伊半島研究会

開会挨拶 奈良女子大学 名越 誠

1. 山と海をつなぐ道 紀伊半島の食の交流史
奈良女子大学 野間 晴雄

2. 化石からみた紀伊半島
滋賀県琵琶湖博物館 中島 経夫

3. 紀伊半島における小哺乳動物の分布に関する研究の現状
奈良教育大学 前田 喜四郎

4. 紀伊半島のサケ科魚類
奈良女子大学 名越 誠

閉会挨拶 奈良女子大学 清水 晃

第3回 紀伊半島シンポジウム
- 紀伊半島を地球環境のモデルに -

日時：1998年7月12日(日) 13:30 - 16:30
会場：奈良女子大学大学院・人間文化研究科会議室
主催：紀伊半島研究会

★開会挨拶 奈良女子大学 名越 誠

1. 山と海をつなぐ道 - 紀伊半島の食の交流史
奈良女子大学 野間晴雄

2. 化石からみた紀伊半島
滋賀県琵琶湖博物館 中島経夫

3. 紀伊半島における小哺乳動物の分布に関する研究の現状
奈良教育大学 前田喜四郎

4. 紀伊半島のサケ科魚類
奈良女子大学 名越 誠

★閉会挨拶 奈良女子大学 清水 晃

連絡先
清水 晃 または 大石 正 Tel 0742-20-3425、-3413
〒630-8506 奈良市北鳥屋西町 Fax 0742-20-3413
奈良女子大学理学部生物科学科 e-mail: oishi@cc.nara-wu.ac.jp

第4回 紀伊半島シンポジウム 未来の森林

日時：1999年5月29日、30日

場所：東吉野村役場住民ホール

主催：紀伊半島研究会

協賛：東吉野村

5月29日(土) 14:00 - 17:00

開会の辞 名越 誠(紀伊半島研究会会長)

歓迎の挨拶 松山 健治(東吉野村村長)

講演

1. 地球温暖化と森林

古川 昭雄(奈良女子大学)

2. 東吉野村の森林

上嶋 庄右衛門(東吉野村)

3. 東吉野村杉人工林と密植

高橋 絵里奈(京都大学)

パネルディスカッション「未来の森林 - 資源としての森林、環境保全のための森林」

司会： 名越 誠(奈良女子大学)

パネリスト： 古川 昭雄(奈良女子大学)

北川 尚史(奈良教育大学)

松山 健治、上嶋 庄右衛門(東吉野村)

竹内 典之、高橋 絵里奈(京都大学)

閉会の辞 清水 晃(紀伊半島研究会事務局長)

20:00 - 22:00 自由討論(東吉野村ふるさと村において) 世話人：清水 晃

5月30日(日) 9:00 - 12:00

森林内CO2測定タワー見学

台風被害、復興状況等村内見学

昼解散

第4回 紀伊半島シンポジウム
「未来の森林」

開催日：平成11年5月29日(土)・30日(日)
開催場所：東吉野村役場住民ホール
主催：紀伊半島研究会
協賛：東吉野村

5月29日(土) 14:00-17:00

開会の辞 名越 誠(紀伊半島研究会会長)
歓迎の挨拶 松山 健治(東吉野村村長)

講演
1. 「地球温暖化と森林」 古川 昭雄(奈良女子大学)
2. 「東吉野村の森林」 上嶋 庄右衛門(東吉野村)
3. 「東吉野村杉人工林と密植」 高橋 絵里奈(京都大学)

パネルディスカッション
「未来の森林 - 資源としての森林、環境保全のための森林」
司会：名越 誠(奈良女子大学)
パネリスト：古川 昭雄(奈良女子大学)
北川 尚史(奈良教育大学)
松山 健治、上嶋 庄右衛門(東吉野村)
竹内 典之、高橋 絵里奈(京都大学)

閉会の辞 清水 晃(紀伊半島研究会事務局長)

5月30日(日) 9:00-12:00
森林内CO2測定タワー見学
台風被害、復興状況等村内見学
昼解散

連絡先：〒630-8506 奈良市北原西町
奈良女子大学理学部生物科学科内
紀伊半島研究会事務局 大石 正
Tel., Fax: 0742-20-3413
E-mail: oishi@cc.nara-wu.ac.jp

第5回 紀伊半島シンポジウム 「特別天然記念物春日山原始林の保護に向けて」 - 森とシカの関係を考える -

日時：2000年（平成12年）6月11日（日）13:00 - 17:00

場所：奈良女子大学記念館

主催：紀伊半島研究会

開会の辞 藤原 昇（奈良女子大学）

1. 明日に向けて、昭和この方の春日奥山受難の歴史を振り返る

菅沼 孝之（元奈良女子大学）

2. シカは奈良公園と春日山をどう使っているか？

立澤 史郎（京都大学）

3. 春日山原始林におけるニホンジカの影響

前迫 ゆり（奈良佐保女学院短期大学）

4. シカにとっての奈良公園

鳥居 春巳（奈良教育大学）

5. 春日山照葉樹林：攪乱と再生のプロセス

神崎 護（京都大学）

6. ニホンジカと森林の共存をめざして - 大台ヶ原の調査から -

柴田 勲弑（名古屋大学）

7. シカと森林動態の相互作用

中静 透（京都大学）

総合討論 司会：相馬 秀廣・前迫 ゆり

閉会の辞 相馬 秀廣（奈良女子大学）

第5回 紀伊半島シンポジウム

「特別天然記念物春日山原始林の保護に向けて
- 森とシカの関係を考える -」

開催日：平成12年6月11日（日）13時-17時
開催場所：奈良女子大学記念館
主催：紀伊半島研究会
来聴歓迎・参加無料

開会の辞 藤原 昇（奈良女子大学）

講演

1. 明日に向けて、昭和この方の春日奥山受難の歴史を振り返る
菅沼 孝之（元奈良女子大学）
2. シカは奈良公園と春日山をどう使っているか？
立澤 史郎（京都大学）
3. 春日山原始林におけるニホンジカの影響
前迫 ゆり（奈良佐保女学院短期大学）
4. シカにとっての奈良公園
鳥居 春巳（奈良教育大学）

休憩

5. 春日山照葉樹林：攪乱と再生のプロセス
神崎 護（京都大学）
6. ニホンジカと森林の共存をめざして - 大台ヶ原の調査から -
柴田 勲弑（名古屋大学）
7. シカと森林動態の相互作用
中静 透（京都大学）

総合討論 司会：相馬 秀廣・前迫 ゆり

閉会の辞 相馬 秀廣（奈良女子大学）

連絡先：〒630-8508 奈良市北魚屋町
奈良女子大学人間文化研究科内
紀伊半島研究会事務局 大石 正
Tel., Fax: 0742-20-3413
E-mail: oishi@cc.nara-wu.ac.jp

第6回 紀伊半島シンポジウム 「紀伊半島の森林と水」

日時：2002年（平成14年）12月21日（土）13:00 - 17:00

場所：奈良女子大学記念館

主催：紀伊半島研究会

共催：奈良女子大学共生科学研究センター

開会

会長あいさつ 藤原 昇

第1部：講演

1. 大台が原の森林はどのように荒廃して来たのか～大台・大峰の森林荒廃の現状～
横田 岳人（奈良女子大学）
2. 東吉野の森林と林業
竹内 信市（竹之内林業）
3. バイオマスの有効利用
井戸 直樹（関西産業株式会社）
4. 河川形態と水生昆虫の行動
磯辺 ゆう（奈良女子大学）
5. 高見川の魚類とその保全
梶本 實雄（東吉野村漁業協同組合）

第2部：総合討論

閉会

第6回紀伊半島シンポジウム
「紀伊半島の森林と水」

会場：奈良女子大学記念館
日時：平成14年12月21日（土）13時～17時
主催：紀伊半島研究会
共催：奈良女子大学共生科学研究センター
入場無料

プログラム

開会
会長あいさつ 藤原 昇

第1部：講演

1. 大台が原の森林はどのように荒廃して来たのか～大台・大峰の森林荒廃の現状～、横田岳人（奈良女子大学）
2. 東吉野の森林と林業、竹内信市（竹之内林業）
3. バイオマスの有効利用、井戸直樹（関西産業株式会社）
4. 河川形態と水生昆虫の行動、磯辺ゆう（奈良女子大学）
5. 高見川の魚類とその保全、梶本實雄（東吉野村漁業協同組合）

第2部：総合討論

閉会

【問い合わせ先】
〒630-8506 奈良市北島屋西町
奈良女子大学共生科学研究センター
大石 正 / 磯辺 ゆう
TEL & FAX: 0742-20-5413 (大石)
20-5587 (磯辺)
E-mail: oshibec@cc.nara-wu.ac.jp

第7回 紀伊半島シンポジウム 「紀伊半島における河川と流域環境の保全 - 源流から河口域まで」

日時：2003年（平成15年）12月13日（土）13:30 - 17:00

場所：奈良女子大学記念館講堂

主催：紀伊半島研究会

共催：奈良女子大学共生科学研究センター

開会

会長あいさつ 藤原 昇

第1部：講演

1. 紀ノ川汽水域における干潟底生動物の現状と保全対策
野元彰人・淀真理・木邑聡美・田中義之（国土環境株式会社）・
和田恵次（奈良女子大学）
2. 河川上流域における在来溪流魚の生息状況とその保全
佐藤拓哉・原田泰志（三重大学）・渡辺勝敏（京都大学）・
森誠一（岐阜経済大学）・名越 誠（国土環境株式会社）
3. 春日山歴史風土特別保存地区岩井川ダム緑化における地域植生回復の試みと
新しい防鹿柵の提案
前迫ゆり（奈良佐保短期大学）・高田研一（NPO法人森林再生支援センター）・
松井淳（奈良教育大学）・生澤起一・江口篤（奈良県森林技術センター）
4. 熊野川・紀ノ川における環境保全に関する河川工学的課題
江頭進治（立命館大学）

第2部：総合討論

閉会

第7回紀伊半島シンポジウム
「紀伊半島における河川と流域環境の保全
—源流から河口域まで」

会場：奈良女子大学記念館講堂
日時：平成15年12月13日（土）午後1時半～5時
主催：紀伊半島研究会
共催：奈良女子大学共生科学研究センター
入場無料

プログラム
開会
会長あいさつ 藤原 昇
第1部：講演
1. 紀ノ川汽水域における干潟底生動物の現状と保全対策
野元彰人・淀真理・木邑聡美・田中義之（国土環境株式会社）・
和田恵次（奈良女子大学）
2. 河川上流域における在来溪流魚の生息状況とその保全
佐藤拓哉・原田泰志（三重大学）・渡辺勝敏（京都大学）・
森誠一（岐阜経済大学）・名越 誠（国土環境株式会社）
3. 春日山歴史風土特別保存地区岩井川ダム緑化における地域植生回
復の試みと新しい防鹿柵の提案
前迫ゆり（奈良佐保短期大学）・高田研一（NPO法人森林再生
支援センター）・松井淳（奈良教育大学）・生澤起一・江口篤
（奈良県森林技術センター）
4. 熊野川・紀ノ川における環境保全に関する河川工学的課題
江頭進治（立命館大学）
第2部：総合討論
閉会

【問い合わせ先】
〒640-8506 奈良市北魚屋西町
奈良女子大学 共生科学研究センター
大石 正 / 磯辺 ゆう
TEL&FAX: 0742-20-3413 (大石)
20-3687 (磯辺)
E-mail: oishi@cc.nara-wu.ac.jp

第8回 紀伊半島シンポジウム 「紀伊半島の自然環境と人 - 先人の暮らし・知恵からエネルギー問題まで - 」

日時：2004年（平成16年）12月18日（土）13:00 - 17:30

場所：奈良女子大学文学部S218

主催：奈良女子大学共生科学研究センター・紀伊半島研究会・地域貢献特別支援事業

開会 13:00

1. 学長挨拶 久米 健次
2. 紀伊半島研究会会長挨拶 古川 昭雄
3. 講演 13:20~
 - 1) 「電気エネルギーの現状と将来」
佐々木 楠雄（関西電力株式会社奈良支店）
 - 2) 「紀州備長炭の世界的意義」
広若 剛士（国際炭やき協力会）
 - 3) 「森林利用と洪水発生の関係を考える」
谷 誠（京都大学大学院農学研究科）

Coffee break 14:50~15:10

- 4) 「紀伊半島の自然環境基盤と自然災害」
高田 将志（奈良女子大学文学部/共生科学研究センター）
- 5) 「堅果食、山村に適応した独自の食文化」
武藤 康弘（奈良女子大学文学部）
- 6) 「奈良県における森林環境税の導入について」
上田 一仁（奈良県農林部林政課）

4. 総合討論 16:45~17:15

5. 共生科学研究センター長挨拶 大石 正

閉会 17:30

奈良女子大学共生科学研究センター第4回シンポジウム
紀伊半島研究会第8回紀伊半島シンポジウム

紀伊半島の自然環境と人 —先人の暮らし・知恵からエネルギー問題まで—

日時：平成16年12月18日（土） 13:00より
場所：奈良女子大学 文学部南棟 S218教室
主催：奈良女子大学共生科学研究センター・紀伊半島研究会・
奈良女子大学地域貢献支援事業
後援：奈良炭化工業株式会社

1. 学長挨拶 久米 健次
2. 紀伊半島研究会会長挨拶 古川 昭雄 **入場無料**
3. 講演

- 1) 「電気エネルギーの現状と将来」
佐々木 楠雄（関西電力株式会社奈良支店）
- 2) 「紀州備長炭の世界的意義」
広若 剛士（国際炭やき協力会）
- 3) 「森林利用と洪水発生の関係を考える」
谷 誠（京都大学大学院農学研究科）
- 4) 「紀伊半島の自然環境基盤と自然災害」
高田 将志（奈良女子大学文学部/共生科学研究センター）
- 5) 「堅果食、山村に適応した独自の食文化」
武藤 康弘（奈良女子大学文学部）
- 6) 「奈良県における森林環境税の導入について」
上田 一仁（奈良県農林部林政課）

4. 総合討論
5. 共生科学研究センター長挨拶 大石 正

シンポジウム終了後、18時より生協食堂において懇談会を予定しております。
参加費：一人3,000円（学生1,000円） 申込：当日受付にて

お問い合わせ
〒630-8506 奈良市北東原西町
奈良女子大学共生科学研究センター 村松 加穂子
電話・FAX 0742-20-3687 e-mail kyousei@cc.nara-wu.ac.jp

第9回 紀伊半島シンポジウム 「生物多様性と外来種」

日時：2005年（平成17年）12月10日（土）13:00 - 17:30

場所：奈良女子大学記念館

主催：紀伊半島研究会

共催：奈良女子大学共生科学研究センター

協賛：日本動物学会近畿支部 / KONC 関西自然保護機構

開会の挨拶 古川 昭雄（紀伊半島研究会会長）

基調講演

『「生物多様性が減る」とはどういう問題なのか?』 中静 透（総合地球環境学研究所）

第1部 近畿からの報告

『世界遺産春日山原始林の多様性と外来種』 前迫ゆり（奈良佐保短大）/ 名波 哲（大阪市大・院・理）/ 神崎 護（京大・院・熱農）

『近畿における在来、外来、雑種タンポポの分布状況』 伊東 明（大阪市大・理）

『DNA分析からみる奈良県の淡水魚の現状』 北川忠生（近大・農）

『和歌山県のタイワンザル問題』 鳥居春己（奈良教育大）

休憩

第2部 外来種問題をどう考えるか

『外来魚（ブラックバス）問題の現状および経緯と背景』 淀 太我（三重大・生物資源）25分

『外来種問題を通して見た日本の生物多様性危機』 五箇公一（国立環境研）40分

総合討論

閉会の挨拶

相馬秀廣（紀伊半島研究会副会長）

第9回 紀伊半島シンポジウム
生物多様性と外来種

日時：2005年12月10日（土）13:00～17:30
場所：奈良女子大学 記念館
— 入場無料 —

開会の挨拶
基調講演
『「生物多様性が減る」とはどういう問題なのか?』 中静 透（総合地球環境学研究所）

第1部 近畿からの報告
『世界遺産春日山原始林の多様性と外来種』
前迫ゆり（奈良佐保短大）/ 名波 哲（大阪市大・院・理）/ 神崎 護（京大・院・熱農）
『近畿における在来、外来、雑種タンポポの分布状況』 伊東 明（大阪市大・理）
『DNA分析からみる奈良県の淡水魚の現状』 北川忠生（近大・農）
『和歌山県のタイワンザル問題』 鳥居春己（奈良教育大）

休憩

第2部 外来種問題をどう考えるか
『外来魚（ブラックバス）問題の現状および経緯と背景』 淀 太我（三重大・生物資源）
『外来種問題を通して見た日本の生物多様性危機』 五箇公一（国立環境研）

総合討論
閉会の挨拶

主催：紀伊半島研究会
共催：奈良女子大学共生科学研究センター
協賛：日本動物学会近畿支部
KONC 関西自然保護機構

お問い合わせ
紀伊半島研究会事務局
電話 0742-20-3687
(奈良女子大学共生科学研究センター内)

シンポジウムの後に懇親会（有料）を予定しております。是非御参加ください。

第10回 紀伊半島研究会シンポジウム

「今後の紀伊半島研究会を考える - 山の上から海まで、そして後継者養成 - 」

主催： 紀伊半島研究会 b

共催： 奈良女子大学共生科学研究センター、奈良女子大学地域貢献事業

日時： 平成 18 年 12 月 24 日（日）午後 1 時より午後 5 時まで

場所： 奈良女子大学記念館

プログラム

1. 開会の挨拶

古川 昭雄（紀伊半島研究会会長）

2. 記念講演

「なぜ紀伊半島か？ - 紀伊半島研究会 10 年の軌跡を踏まえて - 」

大石 正（紀伊半島研究会事務局長・奈良佐保短期大学長）

3. 紀伊半島研究会の今後に関する話題提供

・「山里から見えてくる『自然環境の変遷』」

岩本 泉治（NPO 法人 森と人のネットワーク・奈良）

・「里山保全活動の現状と課題」

谷口 暁（NPO 法人 奈良ネイチャーネット代表）

休憩（午後 2:50～3:10）

・「和歌浦干潟の底生動物と護岸改修問題」

古賀 庸憲（和歌山大学教育学部）

・「紀伊半島の在来イワナ個体群「キリクチ」の保全における環境学習の展開：
自然環境問題に若者層を取り込むには??」

佐藤 拓哉（三重大学大学院生物資源学研究科）

4. 全体討論 - 紀伊半島研究会の今後：話題提供を受けて -

5. 閉会の挨拶

相馬 秀廣（紀伊半島研究会副会長）

第10回紀伊半島研究会シンポジウム

「今後の紀伊半島研究会を考える
—山の上から海まで、そして後継者養成—」

主催： 紀伊半島研究会
共催： 奈良女子大学共生科学研究センター、奈良女子大学地域貢献事業
日時： 平成 18 年 12 月 24 日（日）午後 1 時より午後 5 時まで
場所： 奈良女子大学記念館

会場無料、申込不要ですので、ご自由にご来場ください

プログラム

1. 開会の挨拶

古川 昭雄（紀伊半島研究会会長）

2. 記念講演

「なぜ紀伊半島か？ - 紀伊半島研究会 10 年の軌跡を踏まえて - 」
大石 正（紀伊半島研究会事務局長・奈良佐保短期大学長）

3. 紀伊半島研究会の今後に関する話題提供

・「山里から見えてくる『自然環境の変遷』」
岩本 泉治（NPO 法人 森と人のネットワーク・奈良）

・「里山保全活動の現状と課題」
谷口 暁（NPO 法人 奈良ネイチャーネット）

休憩（午後 2:50～3:10）

・「和歌浦干潟の底生動物と護岸改修問題」
古賀 庸憲（和歌山大学教育学部）

・「紀伊半島の在来イワナ個体群「キリクチ」の保全における環境学習の展開：
自然環境問題に若者層を取り込むには??」
佐藤 拓哉（三重大学大学院生物資源学研究科）

4. 全体討論 - 紀伊半島研究会の今後：話題提供を受けて -

5. 閉会の挨拶

相馬 秀廣（紀伊半島研究会副会長）

シンポジウム終了後、懇親会を行います。
受付は当日行いますので、是非参加ください

お問い合わせ
〒630-8506 奈良市北魚屋西町
奈良女子大学共生科学研究センター内
紀伊半島研究会事務局
電話 & FAX 0742-20-3687